



田畑直子議員・佐藤氏と
市民ヴォイドで

令和6年 千葉市議会第4回定例会

今年最後の定例会となる「令和6年
第4回定例会」は、11月26日(火)午後1
時より開会いたしました。

初日は諸般の報告の後、議題とし
て「会期決定の件」議案第115号か
ら第139号上程(市長による提案理
由説明)「請願第6号、第7号委員会
付託」が行われ、本会議散会後は各会
派に分かれての議案研究となりました。
11月29日(金)は、議案質疑が行われ
常任委員会に付託となり、12月2日(月)
(月)には5常任委員会に分かれての
議案審査が行われました。

12月4日(水)・5日(木)には交渉会派
である4会派による代表質問、12月
6日(金)から12日(木)にかけては一般
質問が行われ、26名が登壇いたしま
した。

最終日となる12月13日(金)は午後1
時開議となり、議案・請願に対する委
員長報告・討論・採決が行われ、その後
人事案件である追加議案審議、議員報
酬条例の改正に関する発議第14号、県
による宿泊税導入に慎重な検討・県内
市町村との調整を求める意見書である
発議第15号の審議が行われた後、神谷
市長からの発言があり、令和6年第4
回定例会は閉会となりました。

元気発信！花見川！

【主な役職】 立憲民主党千葉県総支部連合会副幹事長 環境経済委員会委員 花見川地区保護司 花見川中学校区青少年育成委員会顧問
花見川こうやまき自治会会長 花見川中・花見川小・花見川小・花見川小評議員 千葉みなとリハビリテーション病院外部評議員

かず ひこ

だんぎ和彦

市議会 レポート

「一般質問について」

今議会において、一般質問の時間
を20分に制限する提案があり(一問
一答は答弁時間含め30分)、全会派の
足並みは揃いませんでしたが、私ど
もの会派では通告者6名がすべて一
問一答(答弁含め30分)で行いました。
私は、一般質問が始まった12月6日、
午後1時開議の2人目で登壇し、「1.
アントレプレナーシップ教育の推進
について」2. 農福連携について
3. 幼稚園・保育園・認定こども園
と小学校の連携について」を通告項
目として、一問一答方式(2回目から)
で行わせていただきました。

「アントレプレナーシップ教育の推
進について」では、これまでの小中学
生へのプログラムに加え、新規事業と
して高校生向けのプログラムが実施さ
れましたが、その課題や方向性等につ
いて伺い、アントレプレナーシップ教
育への理解・周知、環境整備、産業人
材の輩出に向けたプログラムの充実等
についてご答弁いただきました。

「農福連携について」では、全国規
模の「農福連携全国フォーラム202
4 in ちば」が本市で開催され、農福連

携への理解の
深まり、取り
組みへの意欲
を喚起するも
のとなった中
で、担い手不足や高齢化が進む農業現
場と障害のある方の就労のマッチング
等について伺い、市職員が直接現場へ
赴いてのニーズや課題把握、両者のニ
ーズをつなぐ役割を果たせるよう取り
組む旨のご答弁をいただきました。



農福連携全国フォーラム2024 in ちば

「幼稚園・保育園・認定こども園と
小学校の連携について」では、義務教
育開始前となる5歳児、義務教育初年

今定例会の議案について

今定例会においては、専決処分1件、
補正予算議案4件、条例議案6件、
一般議案14件のほか、請願2件及び
陳情2件が提出され、これらの議案・
請願・陳情につきましては、12月2
日(月)に開催された5つの常任委員会
において審査が行われました。
また、議案とは直接関係ありません

度となる小学1年生の2年間は、生涯
にわたる学びや生活の基盤となる時期
で、「架け橋期」と呼ばれプログラムの
実施が推進されている中で本市の取
り組みについて伺い、こども未来局と
教育委員会が連携しての取り組み、カ
リキュラムの作成の推進、リーフレッ
トの配布やアンケート結果のホームペ
ージ掲載等による周知・啓発等につい
てご答弁いただきました。

なお、この一般質問の様子は、千葉
市議会ホームページの「議会中継」↓議
会中継BOXの「録画放映(本会議等)」
↓令和6年第4回定例会」↓12月6
日日本会議市政に関する一般質問を
クリックしていただくと、この日の2番
目で出て参ります。ぜひご覧ください！

が、総合政策
局からの「千
葉県と千葉市

の連携推進会議について」では、第3
回目となる連携推進会議において水道
事業に関する協議が行われたこと、建
設局からの「新湾岸道路に係る地域と
のコミュニケーションについて」では、
国・県・近隣市と連携を図りながら新

【裏面へ続く】

【表面より続く】

湾岸道路に係る地域との「コミュニケーション」活動を開始したこと等、それぞれ報告がありました。

今定例会の議案としては、本市施設の「指定管理者の指定について」、「施設の新築工事や改造・改修等の「工事請負契約について」が多く提出されましたが、学校施設の環境整備の「体育館冷暖房設備整備」や公園緑地の「ナラ枯れ被害木対策」等の補正予算、災害応急対策等の業務に従事するため市外の被災地に派遣される職員に対して手当を新設する「千葉市職員の特殊勤務手当支給条例の一部改正について」の条例議案なども提出されました。

議案審査につきましては、前述の常任委員会において審査され、最終日の12月13日(金)に各委員長報告・討論が行われた後採決され、議案第115号の専決処分は承認、議案第116号から第139号は可決、請願第6号・第7号は不採択となりました。

また、追加議案の人事案件議案第140号から第143号は同意、議案第14号「千葉市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について」及び議案第15号「千葉県による宿泊税導入において慎重な検討及び県内市町村との調整を求める意見書について」は可決となりました。

今定例会中の、12月4日・5日には交渉4会派による代表質問が行われましたが、その中で神谷市長は、来年3月16日を投票日として千葉県知事選挙と同日に実施される千葉市長選挙に出馬されることを明らかにされるとともに、「今後も引き続き市政の重責を担わせていただき、山積する課題に真摯に向き合い全力を尽くす」覚悟を示されました。

これに先駆け、12月2日にTKPガーデンにおいて開催された「神谷しゅんいち市政

千葉市長選挙について

報告会」においても、「900年の歴史を受け継ぎ、市民・地域とともに築く・千葉市の未来」をテーマに、これまでの千葉市、そして未来に向けての約束について熱く語られ、「都市機能の中に緑と水辺が感じられサーフティネットが働き、豊かなライフスタイルが実現する千葉市へ」に10の未来ビジョン・15の約束が記載された「マニフェスト2025」も配布されました。

私も時には神谷市長と議論を交わしながら、しっかりとお支えして参る所存です。

議員辞職勧告を受けた議員の一般質問について

「令和6年第3回定例会」の議会レポートでお知らせいたしましたように、前回の定例会で、請願者の意思を確認せず請願書を作成し署名を代筆したなどとして、「日本維新の会・無所属の会(当時)」の桜井崇議員と大平真弘議員が議員辞職勧告決議を受けましたが、決議には法的拘束力がないため、両議員は現在も議員を続けています。

その後、「日本維新の会・無所属の会」は「日本維新の会ちば」に名称変更され、桜井崇議員、大平真弘議員は無所属となりましたが、桜井崇議員が今定例会における一般質問の通告を行い、私どもの会派も含めた他会派からは、その姿勢を疑問視する声が上がりました。また、辞職勧告を受けた議員による一般質問は、千葉市議会ではこれまでも例がないとのことでした。

12月9日当日、順当に一般質問が行われておりましたが、桜井崇議員の登壇直前に中島賢治議員が議長に発言を求め、「辞職勧告決議を全会一致で可決された人物が一般質問を行うことは道義的に到底受け入れることはできない」と発言し、私どもの会派「立憲民主・無所属千葉市議会議員団」、「自民党千葉市議会議員団」、「公明党千葉市議会議員団」、また、請願問題判明当時に桜井崇議員が所属していた「日本維新の会ちば」の議員が議場を退席し、議事進行に必要な出席議員数を割り込んだため、議会は一時中断、その後、全員協議会が開催されるなど協議が行われました。

結果として33名が出席しないまま、議長判断により出席少数で議会は再開され、議長を除く15名が出席した議場において桜井崇議員の一般質問は行われましたが、何とも言えない後味の悪さを感じたところです。

花見川区の諸問題について

り、ミズベリング花見川さんでも、イベントの中で、ゴミを減らすた

地域資源の活用による地域活性化策の一環として、これまでも継続して「花見川カヤック体験イベント」が開催され、私も開催のたびに伺っておりますが、多くの方々には花見川の自然や季節の風を感じていただけるイベントとして、大変ご好評いただいております。

先日も伺った際に、主催されるミズベリング花見川様より、「ご利用いただいた方々から特に川岸にゴミが多い旨のご意見をいただく」とのお話があり、

▼カヤック体験
1回45分
1人乗り2,500円
2人乗り4,000円

ご予約はミズベリング花見川《090-8841-4839》です。よろしくお願いたします！

Snapshot

花見川のイベントでウォーターバルーン



▲起業家教育ワークショップ

